

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	キッズサポートていだ松見教室1st				公表日	2026年2月27日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	100%	国の規定に基づき、支援室の広さを確保しています。必要に応じて個別対応できるようにしています。	日々の活動の様子を通して、室内の危険箇所を確認していきます。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	100%	基準の職員配置数以上の配置をしております。また、作業療法士の専門職職員の配置もしています。	専門職職員による手厚い支援を行ってまいります。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	100%	室内はバリアフリーですが、玄関先に小さな段差があります。	感覚過敏、聴覚過敏なお子様にも配慮できるような環境調整に努めます。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	100%	毎朝、床、窓、ドアノブ、スイッチなど利用者が触れる場所は消毒・清掃を徹底しています。	心地よく過ごせる環境整備と併わせ、感染症対策の為の喚起、消毒等を徹底していきます。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	100%	不穏時や集団に入れないなど必要であれば個別対応、別室対応を行います。	教室が安心できる居場所となるようにお子様の様子に合わせて部屋の確保が出来るように調整します。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	100%	目標設定、振り返りを各自行い、必要な際には情報共有を行い、常に業務改善に努めます。	月2回の定期研修や外部の研修、動画等での研修を積極的に受講して、支援力向上に努めます。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100%	評価表やアンケートを活用しています。また、お送迎時やHUGメッセージなどでのやり取りを通して保護者様のご意見、要望を取り入れています。	ホームページ等では公開していますが、結果と課題、改善案について広く周知するための手法を検討していきたい。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100%	毎日、利用児童の登所前に申し送りを行い、全職員で情報共有をおこない、業務改善に努めています。	情報共有のみで終わらせることをせず、全員で改善策を出し合い、気軽に意見交換できる風通しの良い職場作りを行ってまいります。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	100%	第三者委員会は設置していませんが、運営顧問や相談役に確認、ご助言をいただきながら業務改善に努めています。	運営顧問・相談役のご意見を率直に受け入れて、その後の検証にも力を注いでまいります。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	100%	月2回の研修を受講しています。	定期的な研修のほか、外部で開催している研修にも積極的に受講していきます。	
適切な支援	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	100%	個々のお子様に合わせた支援プログラムを作成しています。	HUGやInstagramなどを活用し、より分かりやすい公表の仕方を考えてまいります。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	100%	定期的にモニタリングなどを行い、それぞれのニーズに合わせた計画書を作成しています。	定期的に面談の機会は設けていますが、よりきめ細かくお話を伺えるよう努めてまいります。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	100%	担当者会議などで利用児の状況の確認など細かく話し合いをしています。	専門職職員の意見を聞きながら知識を集結して、全職員でお客様一人ひとりを支援できるよう対応させていただきます。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	100%	職員間で共有、計画に沿って支援を行っています。	毎日の申し送りで計画についての確認や検討事項などを行ってまいります。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	100%	お子様の適応行動状況を日々の観察記録を用いて確認しています。	作成したツールを有効活用できているか、全職員で確認、徹底していきます。	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	100%	「本人支援」「家族支援」「移行支援」のねらい及び支援内容を項目を適切に設定し、具体的な支援内容を設定しています。	具体的な支援内容となるように心がけていますが、保護者様への説明の際にわかりやすいようにしていきます。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	100%	他教室と共有しながら、全職員で相談して進めています。	活動内容が固定化しないように工夫を凝らしながらも、繰り返し学習できるようにしていきます。	

援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	100%	曜日や内容への偏りがなく、活動内容を作成・実行しています。	活動内容が固定化しないように工夫を凝らしながらも、繰り返し学習できるようにしていきます。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	100%	個別活動と集団活動を組み合わせた個別支援計画を作成し、その日のお子様の状況に合わせて専門職員が支援しています。	その日の体調や気持ち、天候などを考慮して活動の調整をしています。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	100%	利用時の登所前に全職員で申し送りを行い、日々の確認を行っています。	情報共有に漏れがないように配慮し、申し送りの質の向上を図っています。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	100%	全員帰宅後に利用時の様子や送迎車内での様子を情報共有しています。	気づいたことがあった際には、支援終了後に限らず、その都度情報共有に努めます。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	100%	日々の支援記録を記し、支援の検証・改善につなげています。	客観的な視線で記録作成するようにしていきます。
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	100%	定期的にもにリングを行い、個別支援計画の適切な見直しを行っています。	目標の見直しについては、今後も全職員で話し合いを行い考察、検証するようにしていきます。
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	100%	日常生活の充実、創作活動、余暇の提供など日々組み合わせながら支援しています。祝日や長期休暇時には地域資源を活用し地域交流も行います。	これからも、組み合わせながら取り組んでいきたいと思っています。
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	100%	活動を促しや声掛けをしますが、利用時の意思や選択も受け入れたいです。強要にならないように注意しています。	利用児が意思を表出しやすい環境設定を行い、自己決定を支援します。
	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	100%	基本的には児童発達支援管理責任者が参加しております。	情報共有の為の記録を適切に行います。
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	100%	各関係機関と連携し、支援を行う体制を整えています。	引き続き、関係機関との連携を密に行って一歩進めたいと思っています。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	100%	児発管を中心に適切に行っています。	職員間での情報共有を徹底していきます。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	100%	児発管を中心に職員合意の上で適宜に実施されています。送迎時にも情報共有を図っています。	各関係機関との情報共有を行い、相互理解に努めていきます。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	100%	これまでに対象児童がいません。	長期的な視点で、その期間を見越しての情報の整理に努めていきます。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	100%	児童発達支援センターとの関りがなく、助言等を受け取る機会がありませんでした。	必要な機関からの助言を受けられる機会を設けていきたいと思っています。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	100%	地域の公園や、施設のなど資源の活用などで交流の機会を設けています。	今後も地域資源の活用などを通して地域の中での交流の機会を設けていきます。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	100%	児童部会や事業者の会など積極的に参加しています。	事業者の会などへ参加し、情報共有をしていきたいと思っています。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	100%	HUGなどを使い、その日の様子など情報共有しています。	活動内容だけでなく、細かな情報をお伝えし、共通理解していきたいと思っています。
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	100%	年2回の一だカフェを開催しております。その中で、研修を取り入れています。	積極的に一だカフェへの参加をしてもらうように連絡方法を再検討していきます。
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	100%	利用契約時にご説明しています。	わかりやすく丁寧に説明をしていきます。
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	100%	特に保護者様のニーズや意思を尊重し個別支援計画書を作成しています。	こどもの最善の利益を考え、ご家族様に寄り添いながら支援の提供を行っていきます。
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	100%	支援内容を丁寧に説明し同意を得ています。	今後もわかりやすく丁寧に説明をしていきます。保護者様に寄り添った視点での説明に努めます。

保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	100%	ご家族様からの相談などに適切に応じ、助言等を行っています。	スピーディーに対応できるよう、職員間の連携を図っていきます。
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	100%	年2回でのいーだカフェとお祭りの開催により、保護者同士の交流の場を設けています。	ご家族参加を促し、皆さんが参加しやすい会の開催を設定していきます。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	100%	相談があった際にはスピーディーに対応させていただいています。	これからのスピーディーな対応に取り組んでいきます。
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	100%	インスタグラムを活用し、情報公開しています。HUGでのメールのやり取りで、連絡を取り合っています。	個人情報に配慮しながらインスタグラムの活用、連絡体制の強化を図っていきます。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	100%	鍵付き書庫を使用し、個人情報には十分に配慮しています。	個人情報の取り扱いについて、職員へ徹底していきます。
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	100%	HUGなどを使い、その日の様子など情報共有しています。	これからも、必要に応じてHUGだけではなく電話などでの伝達も行っていきます。
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	100%	個人情報などに配慮しながら、地域資源の活用をして交流を図っています。	必要に応じて地域資源の活用をしながら地域に開かれた事業運営を行っていきます。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	100%	マニュアル各種は策定しており、訓練等も実施しています。	利用者ご家族様への周知を行っていきます。訓練の予定、実施をしっかりと伝えていきます。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	100%	業務継続計画（BCP）は策定、訓練の実施を行っています。	訓練時期の見直しなどを検討します。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	100%	契約時、モニタリング時に服薬状況や発作時の対応方法を確認し、職員間で情報共有しています。	一覧などを作成し、一目で見てわかりやすい世にまとめていきたいと思えます。
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	100%	医師からの指示書があるほどのアレルギーの方の利用はありませんが、配慮すべき児童への対応をしています。	共有漏れがないようにしていきます。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	100%	安全計画に基づき、研修や訓練を行い支援しています。	実践的な訓練をなっているかの見直しをしていきます。
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	100%	契約時に安全確保についての説明を行い、保護者様と連携がとれるようにしています。	特性に基づいた安全確保となるように、連携を取っていきます。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	100%	ヒヤリハットを随時記録し、職員間で情報共有して対策、実行しています。	再発防止に見受けた情報共有の徹底を図ります。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	100%	年1回以上と入職時に研修を受けています。	外部研修にも積極的に参加し、虐待防止に努めていきます。
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	100%	適正化委員会で話し合い、十分に配慮したうえでやむを得ず身体拘束を行う場合があることを丁寧に説明しています。	保護者様に納得いただけるよう説明を行っていきます。	